

令和2年度 公益社団法人 川西市シルバー人材センター 事業報告

令和2年度(2020年度)の世界経済状況は、新型コロナウイルスの感染拡大により、第1四半期に大きく落ち込んだ後、その後は徐々に持ち直しに転じました。しかしながら、その後、感染が再拡大したことで回復が一時鈍化しました。このような世界経済の減速を背景に輸出が減少し、日本の景気にも影を落とす結果となりました。

日本経済については、感染拡大の第1波が生じたことに伴い、我が国初となる緊急事態宣言下にあった4～6月期の経済の落ち込みが大きかったことや、その後の第2波・第3波の感染再拡大により経済回復が鈍化したことから、実質国内総生産(GDP)成長率は、過去最低のマイナス成長となりました。

一方、社会情勢に目を転じれば、国内ではさらなる少子高齢化・人口減少社会が進行しており、労働力人口の不足や地域コミュニティの衰退等が加速している状況にあることから、国は、社会保障の支え手を増やす政策を推進しています。

その一つが、就労意欲のある高齢者が70歳まで働き続けられる機会を確保するための環境整備です。令和2年3月には、就業機会の確保を事業主の努力義務とする改正法が成立し、令和3年4月1日から施行されています。働く高齢者には、支えられる側から支える側に回ってもらうことが期待されています。

このような中、生涯現役社会の実現に向け、高齢者の雇用促進、社会参加促進のためには、シルバー事業をさらに発展させ、地域の期待に十分こたえるため、「会員拡大」と「就業機会の確保」が重要であり、シルバー人材センターの機能強化や就業先とのマッチング機能の強化など、働きやすい環境を整備することが必要であることから、シルバー人材センター事業の果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっています。

川西市シルバー人材センターにおいては、平成24年4月に公益社団法人へ移行してから9年が経過し、地域社会においてさらなる理解と信頼が得られるよう、会員の拡大及び請負・派遣の受注先の開拓並びに安全就業の推進等に取り組みましたが、新型コロナウイルスが感染拡大していくなか、会員数、事業実績のいずれも大きく落ち込む結果となりました。

会員数については、外出自粛などにより入会者数が減少した一方、高齢や体調不良からの新型コロナウイルス感染への懸念などを理由とした就業辞退・退会の増加などにより、年度末で1,128人となり、80人の減員(6.6%減)となりました。

事業実績については、特に公共関連施設をはじめ就業先の休業や時間短縮が相次いだほか、個人家庭での業務(家事援助、植木剪定、除草など)についても、緊急事態宣言下の4月～5月において全面的な自粛を余儀なくされるなど、その影響は大きなものとなりました。その結果、受注件数で2,691件と前年度比17.7%の減となり、就

業延人員は83,795人で13.3%の減、受託事業実績と派遣事業実績の合計額は373,323千円で、43,752千円の減(10.5%の減)となりました。

また、会員の安全就業については、チェーンソーの特別教育講習を実施するなど新たな安全活動にも取り組みましたが、令和2年度の事故発生件数は14件(うち、派遣事業1件)と、前年の6件と比較して倍以上となりました。特に、傷害事故では重篤事故が1件発生しており、令和3年度は、従来の安全計画の見直しや外部組織と連携するなど、今まで以上に効果的な安全活動を検討してまいります。

令和2年度の主な事業の取り組み状況は、次のとおりです。

1. 会員の確保と拡充

(1) 高齢者の就業相談を実施するとともに、会員の就業相談会を2回実施しました。

なお、「出張説明会」開催を計画していましたが、新型コロナウイルスが感染拡大する中で「3密」を避けるため中止しました。

令和2年7月27日	参加者1名	シルバー人材センター会議室
令和3年2月19日	参加者2名	シルバー人材センター会議室

(2) 新規会員加入の入会説明会を、年間延べ41回開催しました。

なお、令和2年4月及び5月は、緊急事態宣言の発令を受け入会説明会開催を中止しました。

2. 就業機会の開拓と拡大

(1) 職群別事業実績(受託事業)

区 分 \ 事 項		受注件数 (件)	就 業 延 べ 人 員 (人 日)	事 業 収 入 額 (円)
職 群 別 内 訳	技 術 群	7	118	301,440
	技 能 群	1,077	3,120	42,251,655
	事 務 整 理 群	97	790	2,337,208
	管 理 群	43	10,080	41,602,818
	一 般 作 業 群	1,311	45,047	182,830,922
	サ ー ビ ス 群	105	8,132	29,320,167
	合 計	2,640	67,287	298,644,210

(2) 職群別事業実績（派遣事業）

事 項		受注件数（件）	就 業 延 べ 人 員（人日）
区 分			
職 群 別 内 訳	技 術	1	645
	事 務	1	122
	販 売	1	4
	サ ー ビ ス	15	4,869
	生 産 工 程	2	677
	清 掃 等	31	10,191
	合 計	51	16,508

（手数料等）

（単位：円）

センター手数料	賃金等（兵シ協）	合 計
7,419,500	67,259,996	74,679,496

注：受託事業 298,644,210 円 + 派遣事業 74,679,496 円 = 合計 373,323,706 円

- (3) 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」として、シルバー派遣事業及び就業開拓等に取り組みました。
- (4) 独自事業では、パソコン訪問事業及び墓清掃事業を実施し、収入額は183,419円でした。

3. 安全および適正就業の推進と徹底

- (1) 7月の「安全就業強化月間」に基づき、安全委員会による就業現場の巡回視察を令和2年7月1日に実施しました。また、安全就業推進員による安全パトロールを定期的実施し、会員の就業に応じた安全意識の向上に努めました。
- (2) 会員の安全就業に対する意識の高揚を図るため、令和2年5月に「安全標語」の募集を実施し、下表の作品が選定されました。

標 語 作 品	最 優 秀 賞	慌てるな 急ぐ気持ちが 事故まねく (数元 雅信氏)
	優 秀 賞	<ul style="list-style-type: none"> ・もうちょっと その気持ちが 事故の元 ・慣れが生む その横着が 事故を生む ・気をつけよう 過信と油断と 気のゆるみ ・見たつもり したつもりでも 再確認

- (3) 会員の就業に必要な安全講習会(救命救急講習、交通安全講習)を予定しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、いずれも中止しました。
- (4) 兵庫県シルバー人材センター協会と連携して、令和2年6月に「チェーンソー等特別教育講習」をコベルコ教習所株式会社 尼崎教習センターで実施し、20名が参加しました。

4. 組織体制(会員・事務局)の活性化と強化

【会員の体制】

- (1) 地域班及び職群班活動をとおして、「自主・自立、共働・共助」への意識向上を図りました。
- (2) 会員の同好会活動により、会員相互の親睦が図られました。
- (3) 会員の知識や技能の向上を目的とした講習会等を実施するとともに、就業機会に応じた技能研修を実施し、会員の技術力の向上に努めました。

開催日	テーマ	講師	参加者	場所
令和2年6月17日	ハウスクリーニング	株式会社ダスキンプロスタッフ	20名	シルバー人材センター会議室
令和2年10月30日 11月6日、13日	毛筆筆耕	会員 古賀七五三男	30名	シルバー人材センター会議室
令和3年3月19日	植木剪定	会員 田浦豊昭	8名	湯山台運動公園

- (4) 会員と就業に関する分析や検討に伴う「意見交換」を行うなど、事業運営の活用に努めました。

開催日	職群・職班名	テーマ	参加者	場所
令和3年3月11日	手刈除草班	手刈除草業務について意見交換	5名	シルバー人材センター会議室
令和3年3月16日	配布班	配布業務について意見交換	11名	シルバー人材センター会議室
令和3年3月18日	機械刈除草班	機械刈除草業務について意見交換	4名	シルバー人材センター会議室
令和3年3月23日	植木剪定育成班	植木剪定業務について意見交換	4名	シルバー人材センター会議室
令和3年3月30日	自転車駐輪場整理グループ	自転車整理業務について意見交換	9名	シルバー人材センター会議室

- ※ なお、開催にあたっては、新型コロナウイルスが感染拡大している状況を踏まえて、参加者を班長に限定するなど規模を縮小しての開催となりました。
- また、家事援助グループ、公民館管理グループの意見交換につきましては、開催中止としました。

【事務局の体制】

- (1) 平成 28 年度に策定した「中期計画」に掲げているチャレンジ項目等の達成に向け、計画促進のための進行管理に努めました。
- (2) 「働き方改革」への取り組みとして、職員の業務分担の見直しなどによる効率化に努めました。

5. 積極的な広報・啓発活動の展開

- (1) ホームページに「センターだより」や仕事情報を掲載するなど、事業拡大等への活用による情報発信を行い、事業の普及啓発に努めました。
- (2) 機関紙「センターだより」を年 3 回発行し、センターと会員との情報の共有や、安全就業への意識啓発等に取り組みました。

第 149 号	令和 2 年 7 月号を発行
第 150 号	令和 2 年 12 月号を発行
第 151 号	令和 3 年 3 月号を発行

- (3) PR 活動の一環として、伊丹ハローワークへセンターのチラシ配架を依頼しました。
- (4) 毎年 10 月に全国一斉で実施する「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」活動の一環として、令和 2 年 10 月 16 日にボランティア活動を行いました。会員 19 名が参加して川西能勢口駅前等を清掃し、センターの PR 活動を実施しました。